

指定管理者に対する点検総括表

(点検対象期間：令和 7 年 4 月 1 日 から令和 8 年 3 月 31 日)

施 設 名	南三陸町東日本大震災伝承館（南三陸311メモリアル）
指 定 管 理 者	一般社団法人南三陸町観光協会
指 定 期 間	令和4年10月1日から令和9年3月31日
所 管 す る 所 属	商工観光課 観光振興係

所管する所属の所見

公平性、安定性、安全性に対する所見

(管理運営、公平確保、職員の配置、施設維持管理、修繕、備品管理、安全管理、個人情報の管理、情報提供、会計管理状況について総合的に記述。)

- ・一般社団法人南三陸町観光協会が指定管理者となり4年目である。管理業務基本協定書及び同仕様書並びに事業計画書に基づき、適正かつ着実に管理運営がなされた。
- ・施設使用については、条例及び施行規則等に基づき、適切に処理し、公平性が保たれた運営がなされた。
- ・施設の維持管理については、各種法令点検、場内の清掃等適正に行われており、安定した管理がされている。

効果性、貢献性に対する所見

(利用者ニーズの把握・反映、自主事業の実施状況について総合的に記述。)

- ・自主事業については、施設の目的に沿った内容であり、評価も高いことから当施設の宣伝に寄与していると認められる。
 - ・来場者アンケートでは「良い・大変良い」の割合が90%を超えており、ラーニングプログラムや展示内容、従事する職員の応対等、施設全体に関して好評であることを表している。
- ※アンケート結果(計444件)
大変良い:264件、良い:144件、やや良い:29件、あまり良くない:3件、良くない:2件、大変良くない:2件

効率性に対する所見

(経費の削減について総合的に記述し、収支状況を添付。)

- ・物価高騰や光熱費値上げによるコストの上昇が止まらない中ではあるが、指定管理者の自助努力による経費削減が実施されており、全体の大きな変動は見られない。
- ※令和7年度南三陸町東日本大震災伝承館指定管理業務収支状況報告書
(1)指定管理業務に係る収支状況
(2)自主事業業務に係る収支状況

課題や今後の方向性についての意見等

(当該施設での指定管理者制度の課題や改善すべき方向性等について記述。)

- ・SNSやHP、広報での情報発信の他、県内外の誘客商談会に参加する等、利用者増に向けた取組みが積極的に行われているものの、来場者数は年々減少傾向にある。
- ・本施設は収益を目的とした施設ではないものの、入館料が減少した分は委託料で賄うことになると思われるため、今後安定した運営を続けていくには来場者を有料ゾーンへ向かわせる仕組みづくりが必要である。

審査委員会の意見

指定管理者制度導入施設における業務点検評価表

施 設 名	南三陸町東日本大震災伝承館（南三陸311メモリアル）	評価対象年度	令和 7 年度業務
指定管理者	一般社団法人南三陸町観光協会	所管する所属	商工観光 課
指 定期間	令和4年10月1日から令和9年3月31日		観光振興 係
施設の目的	東日本大震災の記憶及び教訓を伝承し、防災・減災意識を醸成するため、伝承館の管理運営を効果的かつ効率的に実施すること		
業務の内容	1 総合的案内業務 2 施設の維持管理業務に関すること 3 誘客、広報事業に関すること 4 交流、自主事業に関すること		

総合的な評価		評価項目数
総合評価	・施設の目的に沿った運営が適切になされており、SNS、HP、広報等を活用した積極的な情報の発信も行われており、県内外の誘客商談会等に参加し利用者増に向けた取組みもされている。 ・6段階の来場者アンケートでは「良い・大変良い」の割合が90%を超えており、ラーニングプログラムや展示内容、従事する職員の対応等が好評であることを表している。 ・昨今の物価高騰の中でも全体の支出が昨年度と比較し減少していることから、管理者による自助努力が認められる。 ※参考 ・令和5年度来場者数：108,404人（内有料ゾーン32,934人 割合30%） ・令和6年度来場者数：73,207人（内有料ゾーン29,240人 割合40%）※前年度比32%減 ・令和7年度来場者数：70,197人（内有料ゾーン26,406人 割合37%）※前年度比 5%減	A優良：3
評価事項	・施設の適正かつ安定した運営に努められており、自主事業の売上も昨年度と比較し微増していることから、効果的な誘客活動等が実施されていると認められる。 ※自主事業売上 ・令和5年度：9,459,621円 ・令和6年度：7,060,051円 ※前年度比25%減 ・令和7年度：8,714,697円 ※前年度比23%増	B適正：10
改善事項	・本施設は収益を目的にした施設ではないものの、入館料が減少した分は委託料で賄うことになると思われるため、今後安定した運営を続けていくには来場者を有料ゾーンへ向かわせる仕組みづくりが必要である。 ・年々来場者数が減少しているものの、指定管理者による積極的な情報発信等により大幅な減少とはなかった。	C改善：0

1. 施設の管理運営・事業	評 価
- 施設の維持管理については、各種法令点検、館内の定期清掃等適正に行われた。 - 事業についても仕様書・事業計画書に基づき、利用者増に向けた様々な取組みが実施された。	B適正
2. 利用者の公平確保	評 価
南三陸町東日本大震災伝承館設置及び管理条例、同施行規則に基づき公平に行われ、利用料金の徴収や減免申請についても適切に実施されている。	B適正
3. 職員の配置、研修等	評 価
事業計画に基づいた人員配置がされており、繁忙期には指定管理者内での応援体制により効率的な運営に努められている。問い合わせや利用者への対応等も的確で親切な対応がなされている。	B適正
4. 施設の維持管理業務及び保守点検	評 価
- 施設の保守点検等（エレベーター保守点検、自動ドア保守点検業務等）は、専門業者と委託契約し法令に基づき適正に実施されている。消防設備保守点検等は、町が施設全体をまとめて契約・実施した後、案分して指定管理者に請求している。 - 指定管理業務仕様書に基づき設備の適切な管理が行われている。	B適正
5. 施設の修繕	評 価
- 建物自体が新しく、経年劣化等による損傷も見受けられない。 - 令和7年度において、指定管理者が実施した施設の修繕はない。	B適正
6. 備品管理	評 価
- 令和7年度において、指定管理者が調達した備品はない。 - 町の備品についても、破損・紛失等は認められず、適正に管理されている。	B適正
7. 安全(危機)管理	評 価
- 地震、津波を初めとした緊急時については、利用者の避難マニュアルが整備されている。 - 定期的な訓練等も実施されており、適正な安全管理が行われている。	B適正
8. 個人情報の管理	評 価
- 個人情報が記載されている書類については、施錠した書庫に保管されている。 - 保存要領を職員に周知し、管理が徹底されている。	B適正
9. 利用者ニーズの把握・反映	評 価
- 来場者へのアンケートを実施しており、満足度も非常に高い。 - 教育機関や商店街等の地域との交流企画を定期的に行っており、利用者サービスの向上に努めている。	B適正
10. 自主事業の実施	評 価
- 事業計画に基づき行われており、内容も施設の目的に沿ったものである。 - 評価も高く、当施設の宣伝にも結びついていることから優良と認められる。 自主事業売上 令和7年度：8,714,697円、令和6年度：7,060,051円、令和5年度：9,459,621円、 令和4年度：410,098円 ※R4.10.1から開始	A優良

11. 経費の節減	評 価
・職員による節電対策等が実施されており、光熱水費の若干減少している。 ・昨今の物価高騰の中でも全体の支出が昨年度と比較し減少していることから管理者の努力が認められる。	A優良
12. 利用者への情報提供	評 価
・施設利用に関する情報等について、HPやSNS、紙媒体での発信がなされている。 ・県内外の誘客商談会等に参加し、利用者増に向けた取組みがされていることから優良と認められる。 例) EDIX東京、防災産業展…等	A優良
13. 会計管理	評 価
・指定管理に関する収支と自主事業に関する収支を明確に区分し、電子上で管理されている。	B適正

利用者の要望とその対応状況				
期日	要望内容	期日	対応状況	
4月～	震災前の町の写真を見たい。	9月～	航空パネル写真を常設した。	
自主事業の実施状況				
実施状況			※ 別紙資料添付による対応可	
【体験】 ・施設外プログラム ・施設研修プラン ・震災学習プログラム				
【物販】 ・ポストカード ・ファイル				
自主事業売上 ※昨年度比32%増 ・令和5年度：9,459,621円 ・令和6年度：7,060,051円 ・令和7年度：8,714,697円				
収支状況			※ 別紙資料添付による対応可	
(収入)			単位：円	
項目	予算額	決算額	比較増減	内訳
計	0	0	0	
(支出)			単位：円	
項目	予算額	決算額	比較増減	内訳
計	0	0	0	